



農道離着陸場整備事業

完成記念誌

笠岡地区



平成3年10月

岡山県・笠岡市

笠岡地区農道離着陸場運営協議会
井笠地域農道離着陸場整備推進協議会

事業完了を祝して

岡山県知事 長野士郎

農道離着陸場整備事業笠岡地区の完成を心からお喜び申し上げます。

わが国は、高度成長の時代を経て、今後成熟期に向かうことが予測されますが、農業の分野においては農産物の輸入自由化、農業従事者の高齢化、農産物価格の低迷など種々の課題に直面しており、農業生産活動の停滞、農村の活力低下などが懸念されているところでもあります。

これらの課題に対応するためには、農業生産性の一層の向上を目指して農業生産基盤の整備を推進するとともに、農村における生活環境、自然環境の整備を併せて行うことにより、開かれた活力ある農業、農村づくりを進め、農業に携わる人々が、意欲と生き甲斐をもって取り組むことが出来るようにすることが重要であると考えております。

このため、県といたしましては、今年度からスタートさせた「第4次岡山県総合福祉計画」において、21世紀を展望した向こう5カ年間の本県農業の進むべき方向を打ち出し、農業農村整備事業を積極的に進めることとしております。

井笠地域は、南の島しょ・海岸部から北部の丘陵部にかけて、従来から畑作農業の盛んな地域であります。消費者の嗜好変化や、県内の交通網の整備に伴う他地域との産地間競争の激化により、新たな対応が必要となっております。

こうした状況の中で、平成元年度には、国営干拓事業の完成により広大な農地が生み出され、一大生産団地として脚光を浴びているところであり、この度、さらに農道離着陸場の完成をみましたことは、干拓地内はもちろんのこと、当地域全体の新たな農業農村の展開を目指すうえで、誠に意義深いものであります。

今後本施設を利用して、農林水産物の産地直送体制を整えることにより、当地域で生産される農林水産物の付加価値が高められる一方、高品質化によるイメージアップが図られ、地域農業農村の活性化に大きなインパクトを与えるものと強く期待しております。

終わりに、この事業の推進に当たりご尽力いただきました関係者の皆様方に心から敬意を表しますとともに、井笠地域2市7町の一層のご発展をお祈りしてお祝いのことばといたします。

平成3年10月

御礼のことば

井笠地域農道離着陸場整備推進協議会
会長 伊藤大孝

笠岡地区農道離着陸場の竣工にあたり、一言御礼を申し上げます。

この事業は、既存の農道を活用して航空機の離着陸場を整備するもので、笠岡地区農道離着陸場の完成により、農林水産物の輸送の合理化と作業の効率化が図られることにより、生産性の高い農林水産業を実現できるものと大きな期待を致しております。この農道離着陸場は、国、県の御担当当局はじめ地元関係団体の皆様の絶大な御尽力によって完成されたものであり、皆様のこれまでの御苦勞に対し衷心より感謝申し上げる次第であります。

また、施工に当たられた業者の方も、誠心誠意工事を行っていただき厚く御礼申し上げます。

顧みますと、国の昭和62年度予算復活折衝において農林水産省に農道空港建設調査費が認められて以来、農林水産省、県御当局に対し井笠地域への設置を陳情し、昭和62年6月には2市7町45団体で構成する井笠地域農道離着陸場整備推進協議会を設立し、更に陳情を重ねて参りました。このような中で、昭和63年4月に事業採択をいただき、平成元年10月着工することができました。以来、5億6,600万円の事業費と2年の歳月を要した工事も本日無事竣工し、このように立派な離着陸場が完成致しましたことはこのうえのない喜びであります。

近年、社会情勢の変化は著しく、農林水産業を取り巻く環境は内外ともに厳しいものがありますが、これは同時に農林水産業に対する国民の関心が強いということであり、この機を活かして、食糧確保、環境保全等に重要な役割を担う農林水産業の大切さを訴えとともに、生産性の高い農林水産業の実現と農林水産業を通じての地域振興を図る必要があると痛感致しております。

本日完成致しました笠岡地区農道離着陸場は、このような新しい時代の農林水産業並びに明日の井笠地域の活性化に欠くことのできない施設であります。当推進協議会としての役割はこれで一応終えることとなりますが、今後は、笠岡地区農道離着陸場運営協議会におかれまして、農道離着陸場を最大限に有効活用されるものと確信致しております。

長年にわたり御尽力と御協力を頂戴致しました関係の皆様にも、重ねて心よりの感謝を申し上げます。御礼のことばと致します。

笠岡地区農道離着陸場の竣工を祝して

笠岡地区農道離着陸場運営協議会
会長 笠岡市長 渡邊嘉久

本日、ここべいふあーむ笠岡の地に待望の笠岡地区農道離着陸場が、地元関係者の暖かい御理解と御協力によって立派に完成し、竣工を迎えましたことを関係者の皆様とともに心からお慶び申し上げます。

本事業は、農林水産省が既設の農道を活用して、生鮮食料品等の輸送及び農作業における航空機の利用を図ることを目的として、全国に整備されているその1つで、全国の先陣をきっての竣工は、私どもの大きな喜びであり、筆舌に尽くしがたい感激でございます。

今日の農業をとりまく情勢でございますが、内外ともに環境は厳しく、内にあつては農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足等、外にあつてはガットウルグアイラウンドにみられる外圧、また、新たに環境問題がクローズアップされるなど、農業・農村に対する国民の関心が今日ほど高揚し、解決への期待と不安が交錯している時期はございません。

井笠地域におきましても、広大な干拓地の誕生で農家の経営耕地面積は増大したものの、依然として経営基盤は弱く、今後の重要な課題として地域内全体の農業生産の水準向上があげられます。

幸にして当地域は、温暖な気候条件を生かした果樹の生産や、都市近郊型農業といわれる園芸花木などの生産、豊富な水産資源など、地域の特性にあった農漁家経営が展開されており、新鮮さ、こだわりを追求してやまない農林漁業者の生産活動に、この農道離着陸場の完成は大きな力を発揮するものと存じます。

笠岡地区農道離着陸場運営協議会では、この施設を農林水産物の輸送の合理化、農作業の効率化、また、生産性の高い農業の実現と地域の振興・活性化を図る中心的な施設として大いに活用し、厳しい産地間競争に打ち勝つ決意を新たにしているところでございます。

消費者の皆様にも新鮮さで喜ばれ、井笠の味で喜んでいただけるよう私ども運営協議会は、生産者をはじめ市場関係者等との緊密な協力と連携を強めて参る所存でございますが、農道離着陸場が地域産業の発展に欠かせぬ施設として育ってゆくためには、国・県などの行政機関の御指導・御協力が不可欠でございます。

どうか関係各位におかれましては、一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。御礼のことばといたします。

1 事業の目的

生鮮食料品等の高鮮度化に伴う空輸の需要、農作業における施肥及び薬剤散布など、航空機利用の必要性がとみに増加しており、農林水産物の流通及び農作業の効率化等を図るために、航空機の離着陸ができる施設を整備し、消費動向に合った農産物の生産、出荷、生産団地の育成を図り、フライト農業を成立させると共に、地域農業の活性化を図るものです。

2 地区の現況

本地区は、岡山県の西南部に位置し、南は瀬戸内海に接し香川県と相対し、海岸部から中部の小田川流域を経て北部の丘陵台地に至り、西は広島県に隣接し東西に26.3km、南北に56.4kmに及ぶ2市7町を区域としております。又、平成2年に完成の笠岡湾干拓地内の農用地861haを農林漁業の拠点性を確保すべく位置づけ、管内農林漁業振興の重点施策として、干拓地の営農基盤の確立を図ると共に、農道離着陸場と有機的に活用すべくフライト農業に取り組んでいるものです。

地区概要

所在地	笠岡市カブト西町 及びカブト中央町			
関係市町名	笠岡市 井原市 金光町 鴨方町 里庄町 寄島町 矢掛町 美星町 芳井町			
活用する農道	管理者	笠岡市	最寄空港	岡山空港
	名称	幹排2号農道	所用時間	2.5hr
営農団地面積又は流通上一体とみなせる農地面積ha				
田	畑	樹園地	その他	計
3,593	1,392	641	1,148	6,774

3 農道離着陸場整備事業の経過

- 昭和62年5月 農林水産省で調査計画実施要綱要領制定
- 昭和62年6月 計画地区の決定で、調査計画実施の対象地区
(2市7町の農地6,774haと干拓地内の農道利用)として採択される
- 昭和63年3月 調査及び基本計画の樹立
- 昭和63年4月 農林水産省で事業実施要綱要領の制定
- 昭和63年4月 事業採択により全体実施設計
- 平成元年10月 工事に着手
- 平成3年10月 工事完成

4 施設の規模及び概要

農道離着陸場は「航空法第79条但し書の運輸大臣の許可を受けた場合はこの限りでない。」を適用し、場外での離着陸を行う場所として、施設設置基準のH級で、滑走路端より1/20勾配線より上、滑走路横方向に1/7以上、上空45mで水平半径1km以内等に障害物がないことなどで位置を決め、夜間の離発着を行なわない非計器用施設としております。尚、航空機の離着陸を行なう時に航空会社とその都度運輸大臣の許可を得るものです。

5 施設計画概要

基本施設	滑走路	巾 25m × 長 800m	着陸帯	巾 17.5m × 長 920m
	エプロン	巾 40m × 長 50m	誘導路	巾 9.0m × 長 37.5m
	縦断勾配	1.025%~0.1%	横断勾配	1.5%~2.5%
	舗装その他	(アスファルト4cm、砕石10cmクラッシャーラン10cm)標識等一式		
附帯施設	管理棟	鉄骨プレハブ造り一部2階建 64m ²		
	気象観測施設	風向、風力、気圧、吹流し、等		
	安全施設	場周柵、門扉等、交通安全施設(標識)交通遮断施設、測溝、駐車場		
	その他	水道、電気、電話、無線設備、機械器具等		

⑥全体事業費事業量

種目	工種区分	工 事 内 容
基本 施設	準備工	用水管移設 L=52m 掘削 7,158㎡
	排水工	透水管 L=3,779m 管渠 L=120m 側溝 L=1,160m
	地盤改良工	パッドドレーンφ12cm L=13m 5,400本
	盛土工	山土及び水滓スラグ 94,132㎡ 観測機器、取合道工 一式
	法面保護工	種子吹付 34,445㎡ 張芝 743㎡
	舗装工	滑走路、誘導路、エプロン 22,423㎡ その他 2,288㎡
	雑工	標識 案内 看板 等一式
	附 帯 施 設	管理棟
場周柵		有刺柵 L=1,110m ネット柵 L=190m 門扉類 6ヶ所
気象設備工		吹流し、風力、風向、等一式
通信設備工		電話類、無線機類 一式
電気水道工		場内電気引込み L=30.0m 場内電気引込み L=30,0m
その他雑工		交通遮断施設 1式

⑦工期及び年度別事業費

着工昭和63年度～完成平成3年度

年 度	事 業 費	事 業 量
昭和63年度	千円 21,000	全体実施設計 一式
平成元年度	200,000	用水管移設 排水工 透水管 L=3,779m 管渠 L=122m 地盤改良工 5,400本 盛土 53,846㎡ 法面仕上一式
平成2年度	207,000	盛土 V=41,565㎡、管理棟一式 電気、水道、電話、気象設備一式 場周柵 L=1,300m
平成3年度	138,000	盛土 V=2,769㎡ 法面仕上一式 植性 35,188㎡ 舗装工 24,711㎡ 標識工 交通遮断施設 付帯施設等

⑧離着陸場の利用について、

1) 組織体制の設立と経過

イ. 井笠地域農道離着陸場整備推進協議会

設 立 年 昭和62年6月設立

構 成 団 体 2市7町を含む45団体

目 的 地元受入れ体制整備、事業の整備推進

ロ. 笠岡地区農道離着陸場運営協議会

設 立 平成元年2月設立 平成2年8月部会設立

構 成 団 体 2市7町を含む農林漁業の組合を中心に42団体で構成

目 的 フライト品目の選定、生産出荷、運航、運営

ハ. 運営協議会の活動内容

フライト候補作物の品目別検討を行ない、下のa表に示す20品目の選定を行なうと共に、試作実証展示圃による生産技術の開発、生産量の確保、フライト先の需要と市場調査、試験フライトとして、次のb表に示すように市場出荷を行なっています。

a一表 選定候補作物

野菜 6品目	黄ニラ、ミョウガ、小ネギ、アスパラガス、 キノサヤエンドウ、ブロッコリー
果樹 4品目	いちぢく、もも、ニューベリーA、ピオーネ
花き 7品目	バラ、カスミソウ、トルコキキョウ、電照菊・黄カラー、 カーネーション、スイトピー
その他 3品目	林産物 まったけ 水産物 かき、も貝、鮮魚類

b一表 空輸実証量 (岡山空港経由)

昭和62年度	東京 ミョウガ 600kg
昭和63年度	東京 ミョウガ 858kg、エンドウ 48kg 札幌 いちご 331kg
平成元年度	東京 いちご 300kg ミョウガ 900kg エンドウ 60kg 沖縄 バラ、カスミソウ、カーネーション等 27千本
平成2年度	東京 ミョウガ 1,188kg 札幌 バラ 23,550本 いちご 230kg 沖縄 カスミソウ 35,000本 カーネーション 21,000本

2) 運航及び運営について

運営：笠岡地区農道離着陸場運営協議会

業務：空輸品の生産計画、出荷計画、運送業者の選定

運航：航空運送業者の業務 (離着陸の申請、運航計画調整、運航)、

利用航空運送業者の業務 (定期便積枠確保、ハンドリング、配達)

3) 施設の管理について

管理者：笠岡市長

業務：航空機運用時の連絡、見廻り、施設の維持管理

管理方法：笠岡地区農道離着陸場管理規程による

4) 市場と輸送時間

市場	空輸距離	定期便利用	直航便	備考
札幌	1,410km	3.7hr(1.4)		定期便利用札幌
東京	699km(埼玉)	2.4hr(1.1)	5.2hr(2.9)	定期便利用羽田
大阪	215km(八尾)		2.2hr(1.2)	
沖縄	1,255km	3.3hr(2.0)		

注) 距離は直行便、時間は陸送と空輸時間を合計したもの、時間には積替え待機時間を含まない、()は飛行時間、時間は産地より市場迄の推定時間

5) 出荷計画について

フライト候補の20品目で、当月別平均出荷量を2.5tonとし、年間の出荷計画量は約29tonを予定しています。

今後、生産、出荷、運航、横持、等の体制が整ってきますと、フライト産品候補農産物振興目標に添った出荷を予定しています。

9 構成団体名簿

井笠地域農道離着陸場整備推進協議会構成団体45団体

団体名	団体名
笠岡市	井笠地区農業協同組合長協議会
井原市	玉浅地区農業協同組合長協議会
金光町	笠岡市漁業組合連合会
鴨方町	寄島町漁業協同組合
寄島庄町	矢掛町森林組合
里庄町	美星町森林組合
矢掛星井町	芳井町森林組合
美井町	山陽酪農業協同組合
芳井市議会議議会	浅口酪農加工販売農業協同組合
笠岡市議会議議会	笠岡商工會議所
井原市議会議議会	井原商工會議所
金光町議会議議会	金光町商工会
鴨方町議会議議会	鴨方商工会
寄島庄町議会議議会	寄島町商工会
里庄町議会議議会	里庄町商工会
矢掛町議会議議会	矢掛町商工会
美星町議会議議会	美星町商工会
芳井町議会議議会	芳井商工会
笠岡湾干拓地園芸複合生産組合	岡山県農業協同組合中央会 倉敷支所
笠岡湾干拓地耕種複合生産組合	岡山県経済農業協同組合連合会 倉敷支所
笠岡湾干拓地畜産生産組合	岡山県信用農業協同組合連合会 笠岡支所
茂平農業生産組合	岡山県農業共済組合連合会
神島農業生産組合	井笠出張所

笠岡地区農道離着陸場運営協議会構成団体 42団体

笠岡市	井原市
金光町	鴨方町
寄島町	里庄町
矢掛町	美星町
芳井町	
笠岡市農業協同組合	北木島町農業協同組合
白石島農業協同組合	井原市農業協同組合
真鍋島農業協同組合	稲倉農業協同組合
西江原町農業協同組合	金光第一農業協同組合
金光町農業協同組合	六条院農業協同組合
鴨方町農業協同組合	里庄町農業協同組合
寄島町農業協同組合	美星町農業協同組合
矢掛町農業協同組合	
芳井農業協同組合	
笠岡市大島漁業協同組合	笠岡湾漁業協同組合
神島外漁業協同組合	白石島漁業協同組合
北木島町漁業協同組合	真鍋島漁業協同組合
寄島町漁業協同組合	
矢掛町森林組合	美星町森林組合
芳井町森林組合	
山陽酪農業協同組合	浅口酪農加工販売農業協同組合
笠岡湾干拓地園芸複合生産組合	笠岡湾干拓地耕種複合生産組合
笠岡湾干拓地畜産生産組合	茂平農業生産組合
神島農業生産組合	

主 な 施 設

記 念 碑



集荷施設及び管理棟



■岡山県内位置図

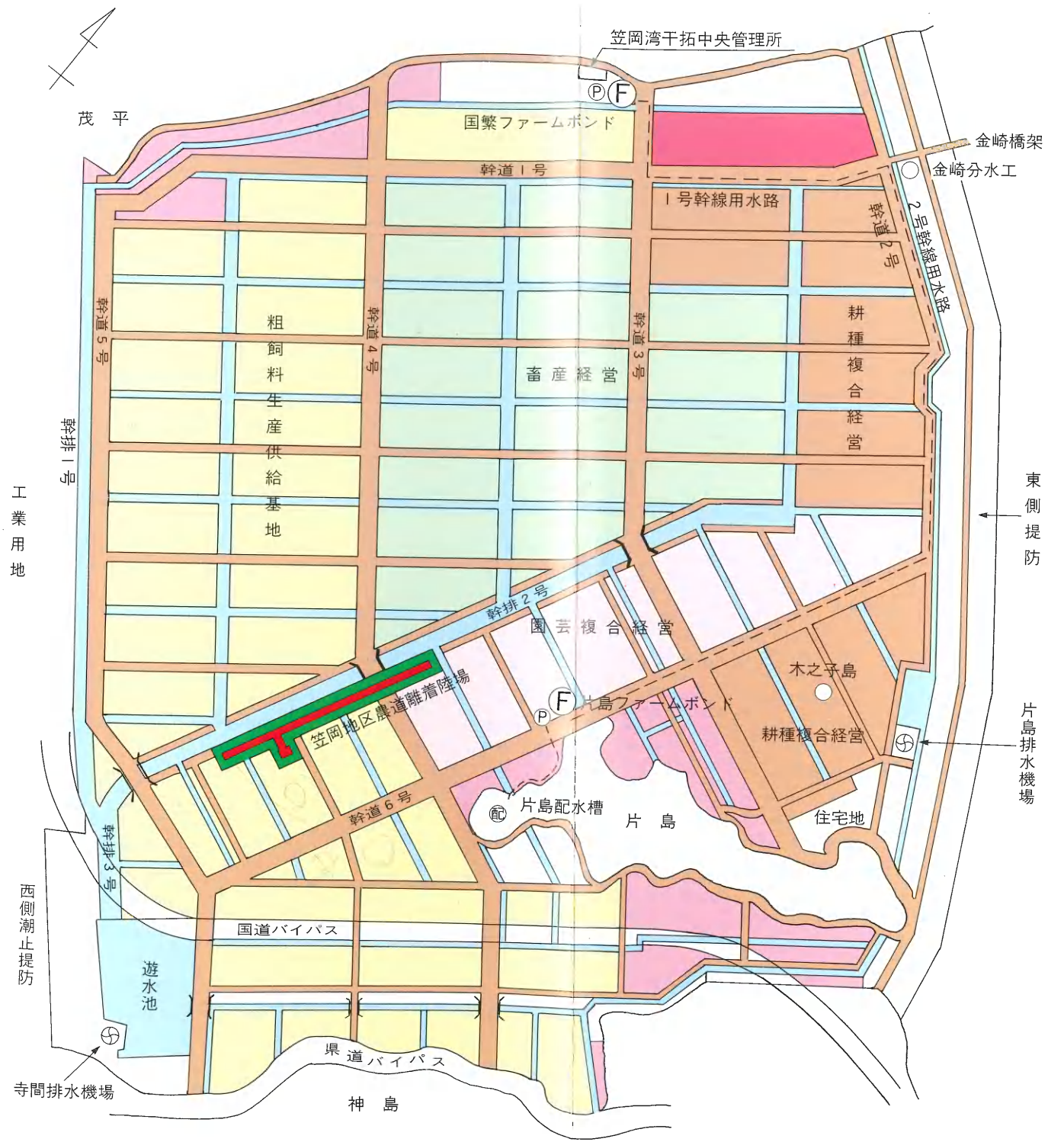


■笠岡圏内位置図

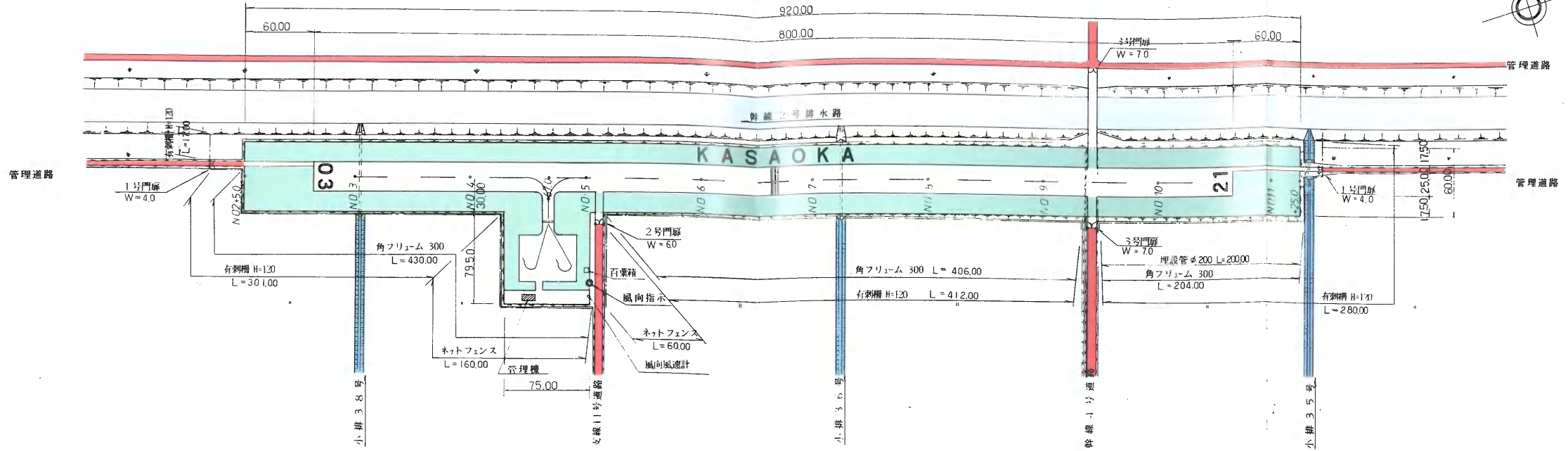


離着陸場計画位置図

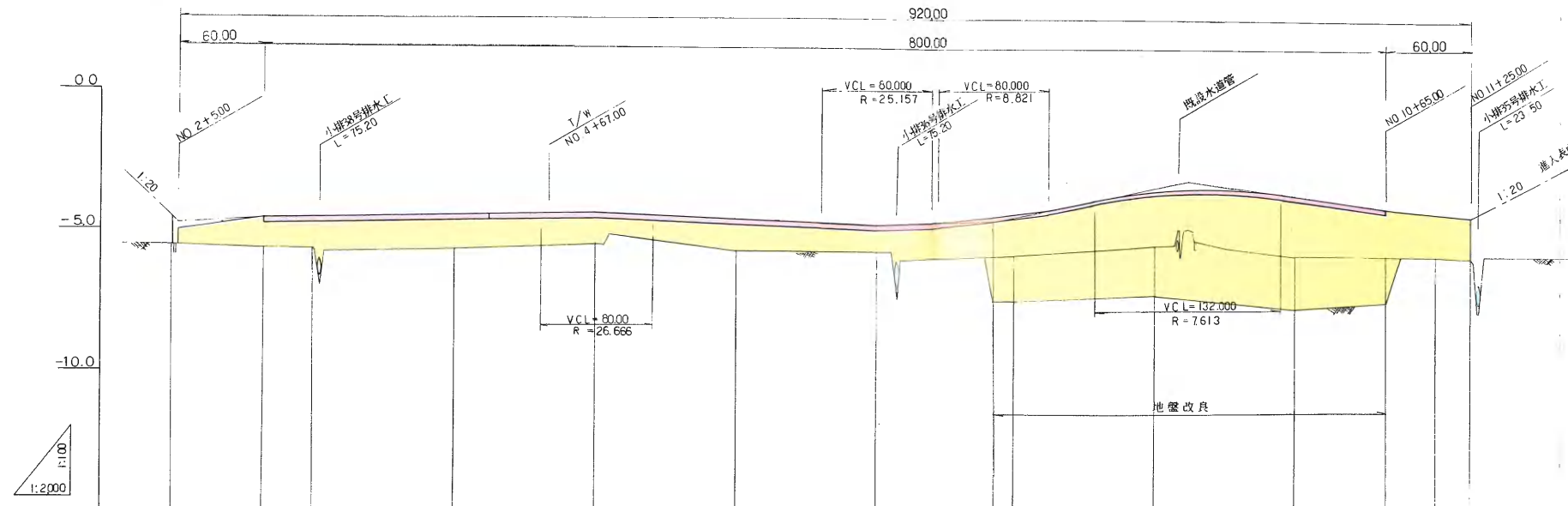
■干拓地内位置図



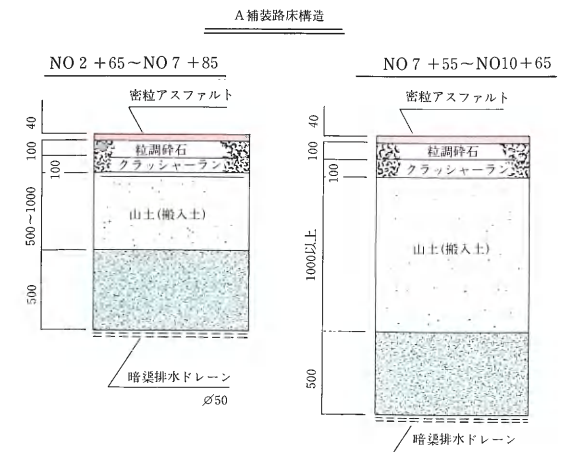
農道離着陸場笠岡地区



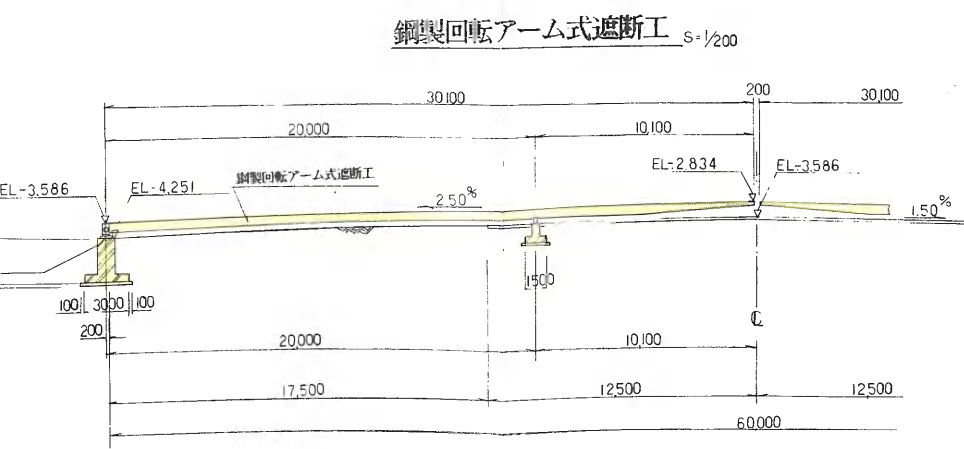
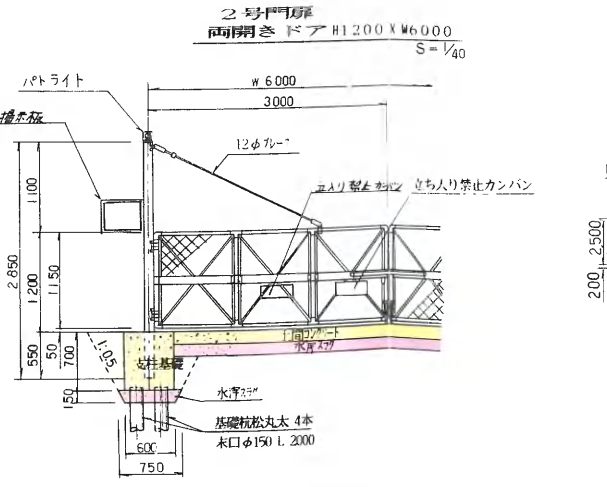
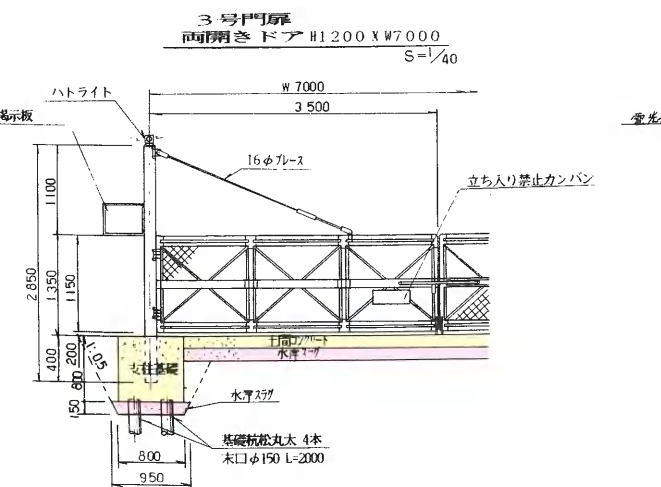
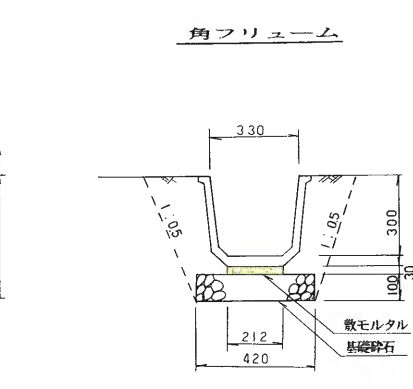
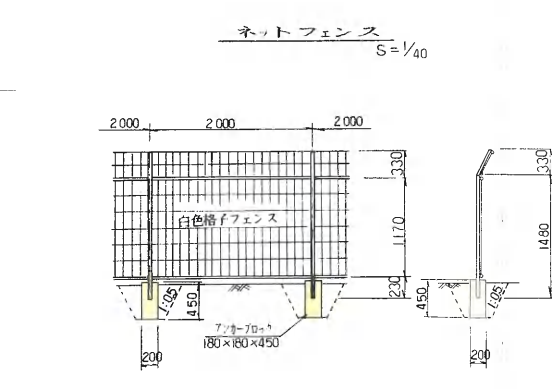
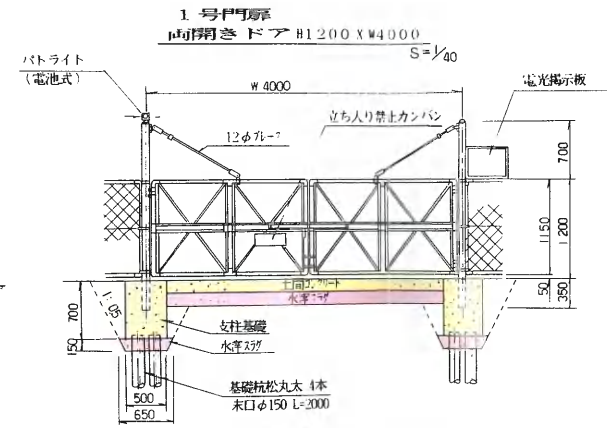
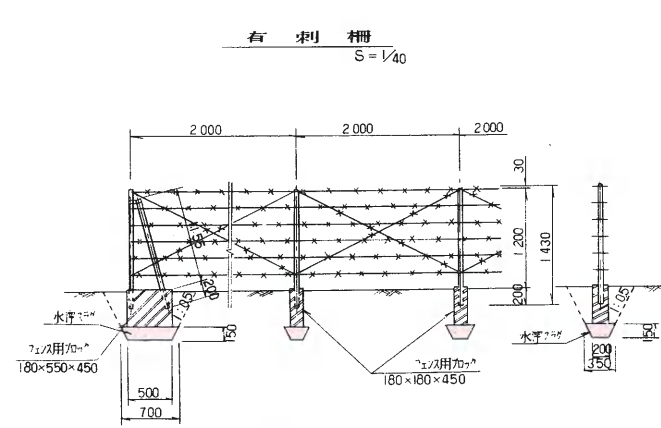
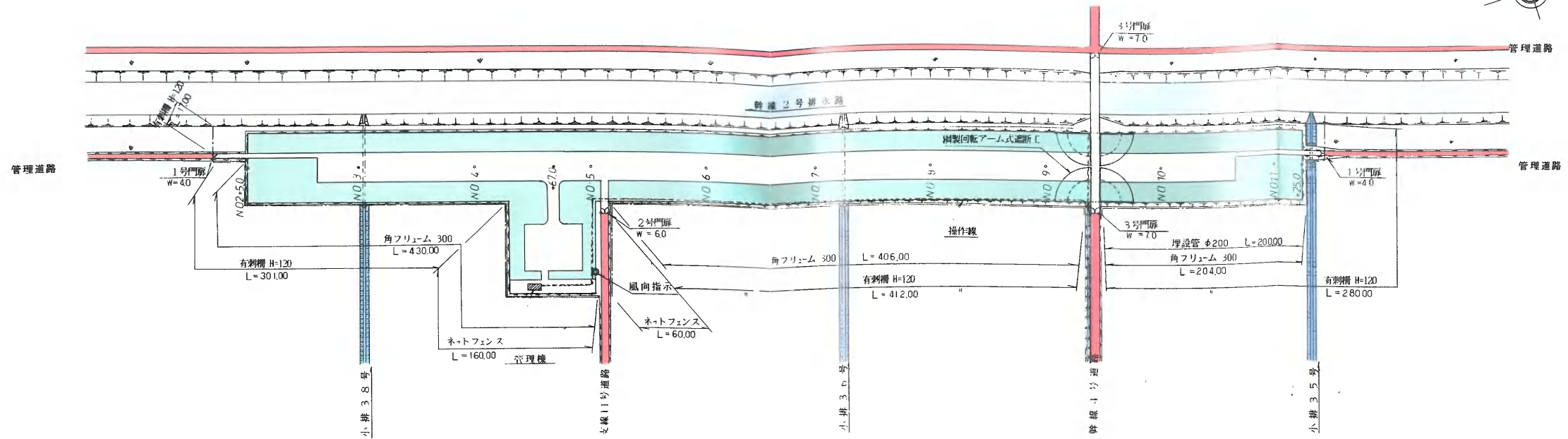
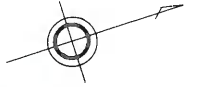
■縦断面図



現況	測点	距離	M	M	%	計画	
						勾配	配
現況	NO 2	50.00	2000.0	-5.54	-4.90	-0.50%	L=60.00
	+	5	50.00	2050.0	-4.56	-0.50%	L=60.00
	NO 3	60.00	2650.0	5.66	-4.56	-0.50%	L=60.00
	NO 3	35.00	3000.0	-5.69	-4.82	-0.10%	L=235.00
	NO 4	100.00	4000.0	-5.69	-4.42	-0.10%	L=200.00
	NO 5	100.00	5000.0	-5.51	-4.35	-0.10%	L=200.00
	NO 6	00.00	6000.0	-5.76	-4.52	-0.10%	L=200.00
	NO 7	100.00	7000.0	-5.79	-4.62	-0.10%	L=200.00
	NO 8	00.00	8000.0	-5.96	-4.30	-0.10%	L=200.00
	NO 9	100.00	9000.0	-5.56	-3.47	-0.10%	L=200.00
	NO 10	00.00	10000.0	-5.99	-3.63	-0.10%	L=200.00
	+	65	65.00	10650.0	-5.98	-4.14	-0.61%
NO 11	55.00	11000.0	-5.99	-4.33	-0.61%	L=60.00	
E P	25.00	11250.0	-6.06	-4.64	-0.64%	L=60.00	



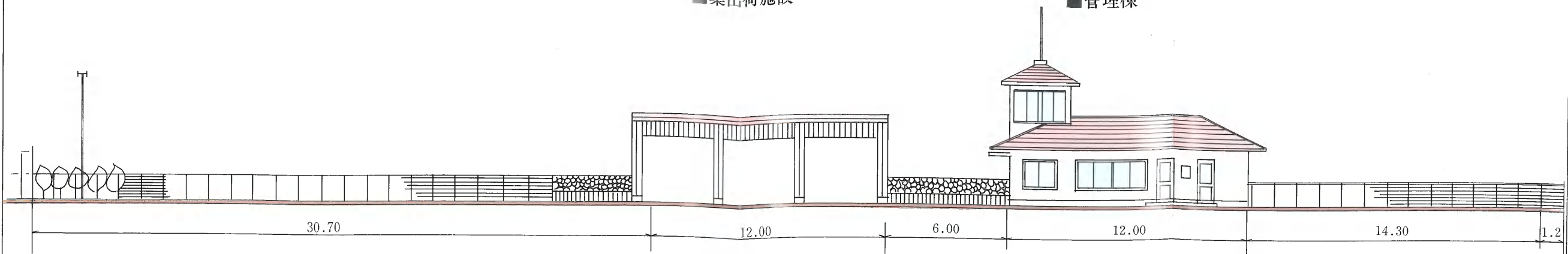
農道離着陸場笠岡地区安全施設工



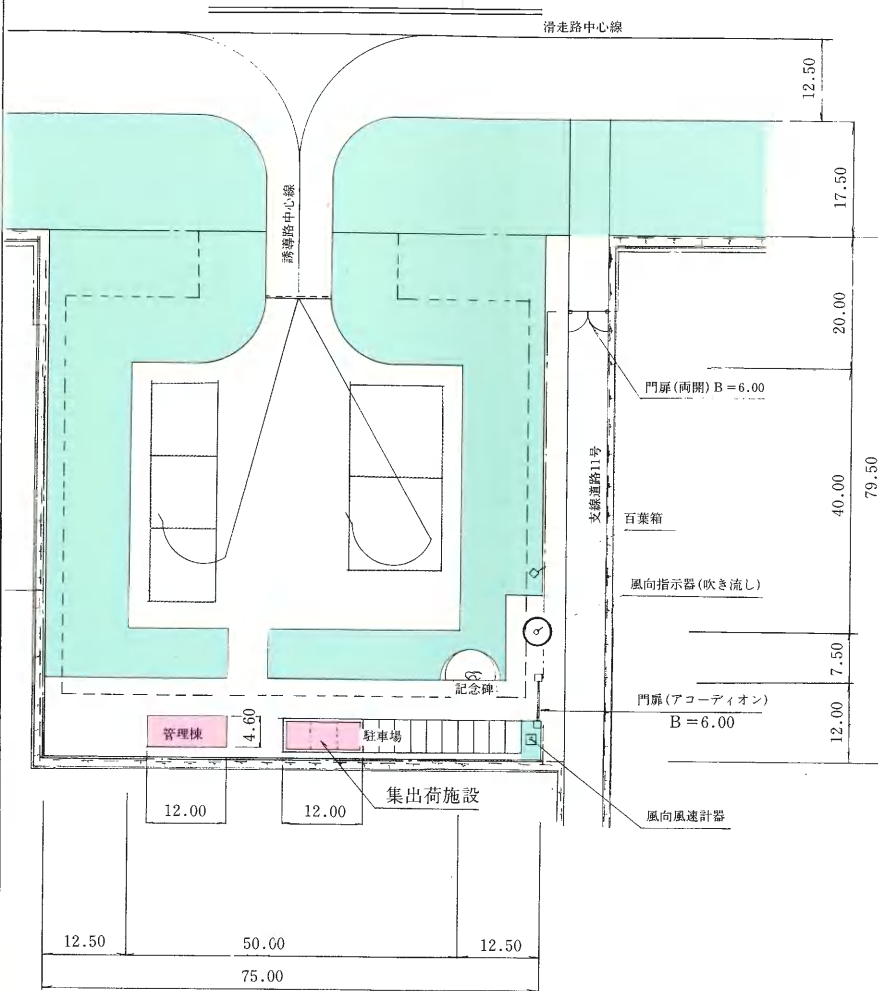
農道離着陸場笠岡地区

■集出荷施設

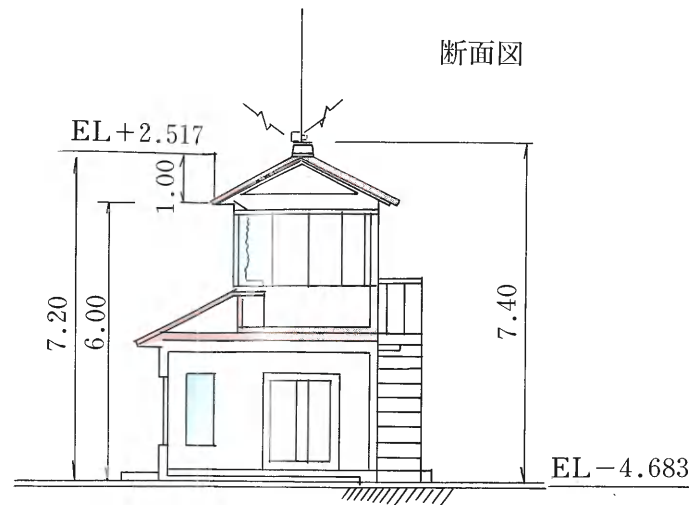
■管理棟



その他施設工

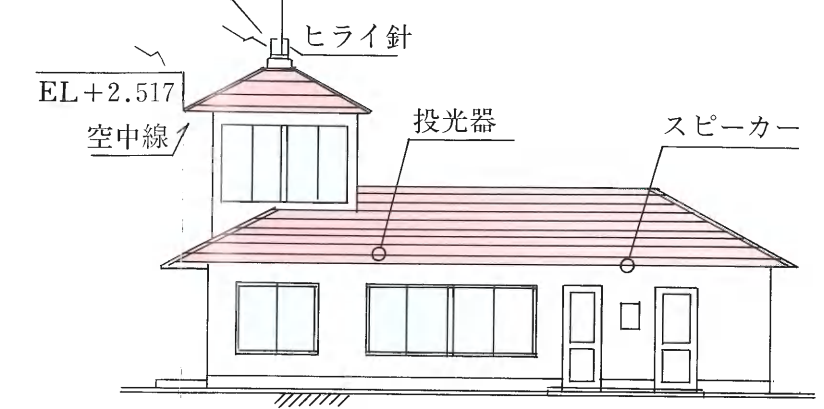


断面図

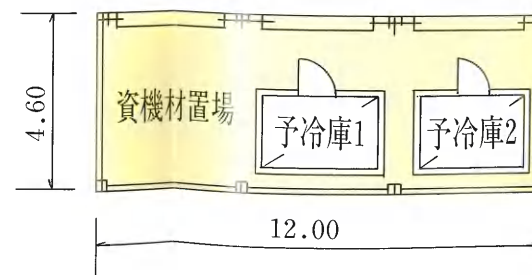


パトライト(赤、緑)

西立面図



■集出荷用施設



1階平面図

